



学校教育目標 「みな(皆)と 未来(未来)を 創る子」

- 「問いを見いだして学び続ける」 繰り返し身近なものに問題意識をもち、探究的に解決をすることを通して、よりよい社会や生活を創ろうとする子
- 「多様性を認められる」 自分の内面と向き合い、自他の違いを認め、多様な文化や価値観を他者と共有しながら協働することで、自分なりの考えを見出せる子
- 「多面的・多角的に物事を捉える」 一つの側面だけでなく、さまざまな立場や視点で物事を柔軟に捉えられる子
- 「豊かな心をもつ」 豊かな感性を養いながら、多様ななかかわりの中で自己の心身と向き合い豊かな心や健やかな体を育む子
- 「まちに愛着をもつ」 まちと学び、これからの私たちのまちの未来をとらえ、語ったり考えたり、行動したりし、このふるさとに誇りをもつ子

持続可能な社会の担い手を育てるための「カリキュラムマネジメント」

ロジックモデルを用いたプログラム評価

包括的と言われるESD/SDGsの達成度合いを測るために、より具体的な活動(資質・能力)を明らかにした指標を作成し、カリキュラムマネジメントに活かす。

基本目標

学校教育目標【「みな」と「未来」を創る子】
「問いを見いだして学び続ける」「まちに愛着をもつ」「豊かな心をもつ」の3つの教育実践を推進する。

学習方針

「問いを見いだして学び続ける」を推進するために、身近な課題や問題意識をもち、探究的に解決をすることを通して、よりよい社会や生活を創ろうとする子。

評価方針

「問いを見いだして学び続ける」を推進するために、身近な課題や問題意識をもち、探究的に解決をすることを通して、よりよい社会や生活を創ろうとする子。

豊かな外部リソースを活用した教育活動



主体的に判断して社会に参画しようとする姿

自分たちの生活をよりよくするために行動する姿

教科横断的な学習(教科ベースから能力ベースへ)で推進する課題解決型の学習

生活科

○持続可能な社会の担い手の素地を養う

学習活動とSDGsを関連させながら、身近な生活やまちから課題を見出したり、友達と協働して解決に向かって取り組んだりして、できることから行動しようとする資質を養う。

総合的な学習の時間

○主体的な学びをつくっていく力 **個の学び**

自ら見出した課題解決に向けて、試行錯誤しながら粘り強く追究し、発展的な課題解決学習を進め、社会参画しようとする資質を育てていく。

○コミュニケーション力・対話力 **集団の学び**

相手意識をもち共感的に見たり聞いたりして、自分と異なる他者と協働しながら、よりよい未来の在り方を考えようとする資質を育てていく。

ESDを中核に据えた「スクールマネジメント」(⇒ホールスクールアプローチ)

2017年3月に公示された小学校学習指導要領において、「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられており、各教科においても関連する内容が盛り込まれている。そこで、みなとみらい本町小学校では、環境、平和や人権等のESDの対象となる様々な課題への取組をベースにしつつ、環境、経済、社会、文化の各側面から学術的かつ総合的に取り組むこととした。そして、世界を変えるための17の目標SDGs達成に向けて、子どもたちの発達段階に合わせ、地域の課題と関連付けて取り組んでいく。

